

全塾協議会報

2016年3月31日発行
2016年第3号

自治会費交付金が交付されるまで

なぜ監査は必要なのか

全塾協議会では、自治会費として全塾生から毎年750円(総額2200万円)

を預かり、塾生の福利厚生に貢献する全塾協議会所属団体に自治会費交付金という形で配分していきます。

自治会費交付金が交付されるまでの流れ

1月	12月締め団体の決算書類提出	
2月	帳簿講習会	
3月	3月締め団体の決算書類提出、予算申請書提出	
4月	4月締め団体の決算書類提出	上部七団体による一次監査
5月		
6月		事務局による二次監査
7月		
8月	リーダーズキャンプ(予算審議会)	
9月	予算執行計画説明書提出、全塾協議会定例会にて議決	
10月		
11月		
12月	各団体への交付金交付、帳簿講習会	

全塾協議会所属団体の活動は公共性が高いことから、自治会費交付金を受け取っているかに関わらず、団体としての健全性を証明することが求められます。

各団体の健全性を確認した上で、塾内外に対してこれを保証するために行われるのが、毎年の監査です。監査は全塾協議会上部七団体による一次監査、全塾協議会事務局による二次監査から成り、これらを経て確定した会計決算と予算関係書類が、各団体の次年度予算を決定する上で重要な要素となります。

中でも、自治会費交付金の交付を受けている団体に関しては、不明瞭、不適切な支出がないか、より厳重な確認が行われます。

これは、自治会費が学費とともに全塾生から徴収されており、自治会費の使い道が塾生に利益をもたらす、健全なものであるというのを確認、公表する必要があります。

今月のあいさつ
全塾協議会事務局次長
大西 敬也

塾生の皆さま、こんにちは。1月より事務局次長を務めております経済学部3年の大西敬也です。もうすぐ4月となり、塾生の皆さまは4月に入学する新入生を迎えるための準備に追わ

要があるためです。

また、自治会費の徴収は、全塾協議会が毎年大学当局に代行を申請しています。徴収した自治会費を委託されるには、全塾協議会の健全性を当局に示さなくてはなりません。

そこで全塾協議会は、監査結果を当局に報告することで、自治会費交付金の使用用途を明瞭に示しています。

監査は、各団体の健全性を塾生に示すだけでなく、全塾協議会の健全性を当局に示す手段でもあります。こうして築いた当局との信頼関係が、塾生自治の維持そのものを可能にしているのです。

れているものと思います。今月23日に卒業式が行われました。多くの卒業生同様、事務局内でも先輩方が卒業されました。今回は卒業される先輩方について書いてみたいと思います。私が事務局に参加した1年生の時、先輩方はとても(体格的にも)大きく見えましたが、先輩方は全塾協議会というこの大学の学生自治を担う組織を支える事務局員としての心構えや、事務局

の仕事など様々なことを、優しく時に厳しく我々に教えてくれました。その先輩方が4月からはもういらっしやらないのだと思うととても寂しく思うと同時に、自分たちが頑張らなくてはならないのだと強く感じます。

これから12月の任期満了まで、精一杯努力してまいりますので宜しくお願致します。

企画部)



協議の様子
全塾協議会定例会での協議の様子
右：事務局次長の大西君

議公会公告

平成28年2月期全塾協議会定例会は2月17日(水)、三田キャンパス大学院校舎313教室にて開催されました。報告事項・協議事項は左記のとおりです。

●事務局による業務報告
(総務部、財務部、広報部、

○文化団体連盟の交代承認申請↓可決 ○体育会本部の交代承認申請↓可決 ○国際関係会のパンフレット代、ピラ代及び資料印刷代に関する独自財源特別支出承認申請↓可決 ○應援指導部の交通費、納会費、器材車高速費、ガソリン費、贈答品費、人件費、指導費、コーチ交通費及び献花費に関する独自財源特別支出承認申請↓可決

3月22日(火)開催の3月期全塾協議会定例会の協議事項は次号に掲載いたします。

オリエンテーション実行委員会とは

3月19日に、オリエンテーション実行委員会と全塾協議会事務局の情報交換と関係の発展に向けて、事務局員が委員長石橋君と福島君のお二方に取材を行いました。



委員長石橋君(中央)と事務局員福島君(右)と取材を行った三田君(左)

求人情報、見に来ませんか?—共済部—

慶應義塾大学には、塾生向けにアルバイト情報を公開している団体があることをご存じですか? 共済部は、日吉は塾生会館102R、三田は西校舎学生団体ルーム37番に部室を構え、家庭教師、試験監督を始め、多種多様なアルバイトを紹介しています。学生がアルバイト紹介の中心を担っているのは義塾の特長であり、共済部員の働きなくしては成し

得ないことです。3月22日に、共済部と全塾協議会事務局の情報交換と関係の発展に向けて、事務局員が代表の田嶋君と財務の中野君のお二方に取材を行いました。塾生自身の力でアルバイト紹介業務を遂行することには苦勞も伴うようですが、お二方は「企業の方への対応や業務用メールの作成、電話での受け答えをする機会が多く、良い社会経験になっていく」と前向きに話してくれました。

オリエンテーション実行委員会は、毎年4月に日吉キャンパスで実施される新入生向けオリエンテーションの運営を担う団体です。具体的な活動としては、①入学式の際に新入生に配布するオリエンテーションパンフレットの製作、②オリエンテーション期間中の教室説明会・音練等の各団体への割り振り、③ポスター貼り抽選の実施、といったものが挙げられます。①に関しては、パンフレットの内容は、学生団体の紹介

介だけでなく、1年目の委員による義塾卒業生へのインタビュー記事、塾生の間で頻繁に使われる用語の説明等、多岐に渡っています。様々な要素を盛り込むことで、サークルに入りたいと考える新入生に限らず、全ての新入生にとって読み応えのある冊子となっているのではないのでしょうか。また、今年度はオリエンテーション参加費をこれまでの8000円から7500円に一括で引き下げるなど、参加団体への負担を軽減する工夫もしています。

オリエンテーションには日吉、三田を拠点とするほぼ全ての団体が参加しており、参加団体の数は約800にも及びます。膨大な数の団体を約30人という少数の委員で全て取りまとめることは時に苦勞も伴うようですが、お二方は「多くの塾生を知ることができて楽しい。」と話してくれました。将来的には、多くの塾生が集まるという利点を活かして、オリエンテーションを新入生の勧誘のみにとどまらず、塾生全体に対する宣伝の場としても活用することを目指しています。

共済部では、春休みに下宿紹介も行っています。下宿紹介の利用者は今年度も300人を超えており、共済部の活動に対する塾生からの需要の高さを窺い知ることが出来ます。一昨年から下宿紹介冊子の販売に代えてデータベースを導入し、より塾生の利益にかなった、利用しやすいものとなりました。今後は三田、SFCキャンパス付近や元住吉などに対する需要を受け、これらの地域の物件を増やすことを目指していくそうです。



にて大学前店慶義塾大の前カフェにて右前：代表田嶋君 右後：財務中野君

代表の田嶋君は「より多くの塾生に、より良い下宿先を紹介していきたい」と、今後の目標を述べてくれました。○財務部 財務部は、財務業務の円滑な引き継ぎ及び財務資料の回収のため、引き続き財務講習会を行っておりま

委員長を務める石橋君は、「円滑に、何事もなくオリエンテーションを開催できることが目標。塾生がオリエンテーションに気が付かないで終わるくらいが理想だと思っている。」と、塾生のためを心から想った目標を述べてくれました。○総務部 総務部では、通常業務を行っています。また、年度の更新に伴い、過去資料や各種申請書類の整理を紙ベースとデータベースで行っています。各団体の役員が変動する中、申請や手続き、連絡に漏れや滞りが無いよう、一層気を引き締めていく所存です。

事務局報告

行やSNSでの情報発信などの広報活動を行っております。新入生向けオリエンテーションに向けた準備を進めるとともに、全塾協議会内での告知を行う月報の準備を始めました。今後、詳しい話を所属団体の方々にお知らせしていきます。○企画部 4月からの本格始動に先駆け、オリエンテーション実行委員会、共済部へ、活動についてのヒアリングを行いました。また、新規事業助成金制度の運用について、希望する傘下団体への説明、相談などを行いました。

全塾協議会事務局
三田本部 学生団体ルーム27番
日吉支部 塾生会館101号室
発行人 丹羽直也
編集人 土屋百合香
お問合せ info@keio-zenkyo.net
webサイト http://keio-zenkyo.net
Twitter @keio_zenkyo
Facebook 慶義塾大
https://www.facebook.com/zenkyo_public

○広報部 毎月の全塾協議会報の発